

事業概要票

事例NO. 54（平成23年度発表）

事例キーワード

簡易で丈夫な路網と
周辺環境への配慮

事業名	林業専用道整備事業 南郷線ほか5路線
事業担当機関	農林水産部 森林整備課
事業期間	平成23年度～
実施場所	横手市山内伐ほか5箇所
事業概要	全体事業費 207百万円（南郷線 140百万円）
	工事概要 測量設計業務L=12,000m 林業専用道開設工事 L=5,530m（6路線） （南郷線 1,840m）（南郷線 1,520m）
	事業の目的 ・効率的な森林施業を行うため、10t積トラックの走行を想定した林内輸送の中核的な路網として「林業専用道」を整備する。 ・また、構造を簡易で丈夫な道の整備を推進することによって、必要な路網延長を確保する。 【平成23年度創設事業】
環境配慮の内容	<p>平成23年度、国で創設した「林業専用道」は林道の規定を準用しながら、「土構造」を基本とし「側溝」「法面保護工」を原則施工しないことや、切土勾配、盛土勾配、横断勾配も林道に比べ基準的に厳しくなるなど簡易な構造による開設コストの低減が求められた。</p> <p>また、地層・地質の脆弱面からの斜面崩壊や降雨・降雪等による自然災害への対応から、測量設計や工事施工に際して断面の最小化や適正な施設配置など技術的工夫を行った。</p> <p>【環境配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none">◇切土高、盛土高の抑制による人工斜面露出量の低減を図る◇切土量、盛土量を抑制し、地山改變量の低減を図る◇原則「土構造」とすることでコンクリート使用を抑制する。◇工事への木材利用により周辺環境との調和と森林施業への貢献◇林業専用道活用による適正な森林管理（森林の機能向上）
施工後の状況	<ul style="list-style-type: none">・工事施工中であり現地での検証は次年度の予定となっている。・Plan（計画）-Do（実行）-Check（評価）-Act（改善）サイクルを確立し実行管理と検証を積み重ね、技術向上と事業に対する認識の共有を図る必要がある。

図面、写真、説明

